



# 議会だより

# たむら

2010  
第23号

平成22年11月1日発行



▲滝根町「あぶくま洞 駐車場」

## クラシックカーレース

「ラ フェスタ ミッレミリア2010」のチェックポイントにあぶくま洞が選ばれ、10月9日（土）にクラシックカーが集結しました。

## もくじ ~今回の内容~

9月定例会等	2~4ページ
12月定例会日程（案）	5ページ
代表質問	6ページ
一般質問等	8~11ページ
各委員会活動報告	13~15ページ

# 9月定例会



平成22年9月定例会が9月1日から21日までの21日間にわたって開かれました。富塚市長より条例の一部改正、平成22年度各会計補正予算と平成21年度各会計歳入歳出決算認定などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。また、議員発議による意見書提出議案を原案のとおり可決しました。

## 市税条例の一部を改正

個人市民税および固定資産税の納期前納付にかかる報奨金について、税収の早期確保と納税意識の高揚を目的に交付していましたが、所期の目的はほぼ達成されたことや特別徴収など交付の対象とならない場合もあり、全体として公平性に欠けることなどから平成22年度をもって廃止するもので、原案のとおり可決しました。

## 人権擁護委員について

人権擁護委員の候補者の推薦について、次の方を推薦することに異議ありませんでした。

吉田 美再  
葛田 昌再  
隆平 (滝根)  
佐藤 良代 (都路)  
今泉 富判 (船引)  
大友 政新

## 平成22年度補正予算

平成22年度田村市一般会計、各特別会計および水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決しました。  
(詳細は左表のとおり)

### ■一般会計補正予算

補正額 (補正後予算総額)	補正の主な理由
7億9,825万5千円増 (210億3,666万9千円)	歳入…地方交付税、繰越金、市債の増額、市税の減額等 歳出…民生費、教育費等の増額

### ■特別会計および水道事業会計補正予算

会計名称	補正額(補正後予算総額)
国民健康保険	3,985万8千円増 (51億8,626万5千円)
老人保健	124万9千円増 (834万9千円)
介護保険	1,296万3千円増 (32億4,553万8千円)
後期高齢者医療	49万円増 (3億4,379万円)
滝根町観光事業	1億1,026万8千円増 (7億4,366万8千円)
水道事業会計	1億456万1千円増 (12億6,353万5千円)

## 定例会で審議された主な議案

### ●議員発議

- ・決算特別委員会設置に関する決議について  
(提出者 長谷川元行議員)
- ・米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書の提出について  
(提出者 白石治平議員)
- ・免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について  
(提出者 白石治平議員)
- ・EPA・FTA推進路線の見直しを求める意見書の提出について  
(提出者 白石治平議員)
- ・市町村合併に伴う流域下水道移管に関する制度改正を求める意見書の提出について(国へ)  
(提出者 白石治平議員)
- ・市町村合併に伴う流域下水道移管に関する制度改正を求める意見書の提出について(県へ)  
(提出者 白石治平議員)
- ・田村市議会会議規則の一部を改正する規則について  
(提出者 長谷川元行議員)

### ◆条例の一部改正

- ・市表彰条例、市税条例、市農村集会施設条例

### ◆補正予算

- ・平成22年度田村市一般会計補正予算(第2号)、5特別会計および水道事業会計補正予算

### ◆決算認定

- ・平成21年度田村市一般会計歳入歳出決算、各特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算

### ◆その他の議案

- ・田村市過疎地域自立促進計画の策定について
- ・田村市学校給食センター建築主体工事請負契約について
- ・田村市学校給食センター電気設備工事請負契約について
- ・田村市学校給食センター機械設備工事請負契約について
- ・財産の取得について
- ・人権擁護委員の候補者の推薦について

すべて、原案のとおり可決

※議長および議会選出の監査委員を除く20人

	委員	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員												
	松本	宗像	本田	先崎	半谷	橋本	猪瀬	木村	筋内	白石	長谷川	橋本	石井	樽井	菊地	大和	白田	大石	遠藤	佐藤	
	熊公	仁温	一容	明雄	高平	仁治	元文	忠義	武恒	博次	徳忠										

### ●決算特別委員会

平成21年度田村市の各会計決算を審査するに当たり、各議員が全ての決算について審査するためのもので、原案のとおり可決しました。  
(委員は左表のとおり)

### 決算特別委員会を設置

## ■一般会計歳入歳出決算

	平成21年度	平成20年度	比較	
			増減	比率(%)
歳入総額	23,514,084,372円	20,718,795,911円	2,795,288,461円	13.5%
歳出総額	22,604,055,584円	19,684,652,804円	2,919,402,780円	14.8%
歳入歳出差引残額	910,028,788円	1,034,143,107円	△124,114,319円	△12.0%
翌年度へ繰り越すべき財源	141,976,000円	519,021,000円	△377,045,000円	△72.7%
実質収支額	768,052,788円	515,122,107円	252,930,681円	49.1%

## ■特別会計歳入歳出決算および水道事業会計決算

	会計名称	歳入歳出総額	
		歳入総額	歳出総額
特別会計	国民健康保険	5,109,961,941円	4,678,275,134円
	老人保健	19,554,337円	19,554,337円
	介護保険	3,084,901,968円	3,043,530,533円
	後期高齢者医療	313,675,662円	313,185,212円
	滝根町観光事業	762,616,284円	632,347,457円
	農業集落排水事業	26,611,582円	26,611,582円
	宅地造成事業	142,277,182円	142,277,182円
	公共下水道事業	1,188,962,233円	1,188,962,233円
	授産場事業	70,104,509円	70,104,509円
	診療所事業	306,185,253円	306,185,253円
	介護認定審査会	23,397,403円	23,397,403円
	計	11,048,248,354円	10,444,430,835円
水道事業会計			
	区分	収入	支出
	収益的(税抜き)	519,488,527円	517,655,355円
	資本的(税込み)	404,183,503円	674,504,749円

平成21年度田村市一般会計・各特別会計歳入歳出決算認定および水道事業会計決算認定の議案が提出され、原案のとおり認定しました。

### 平成21年度決算を認定

本市議会の決算審査の方法は、特別委員会に付託し審査を行います。  
(詳細は左記および15ページのとおり)

# 請願・陳情

9月定例会において、請願4件が審議され、3件を採択しました。

また、その請願に基づく意見書を議決し政府関係機関へ提出しました。

## 請願

○山根小学校の常葉小学校への統合にかかわる、児童送迎バスに、山根方部の中学生の同乗を求める請願 **【継続審査】**

請願者 常葉町山根行政区  
区長 國分幸夫 ほか1名  
紹介議員 石井忠治

○米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

## 【採択】

請願者 福島県南農民組合  
代表者 大竹利男  
紹介議員 木村高雄

○免税軽油制度の継続を求める請願 **【採択】**

請願者 福島県南農民組合  
代表者 大竹利男  
紹介議員 木村高雄

○EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願 **【採択】**

請願者 福島県南農民組合  
代表者 大竹利男  
紹介議員 木村高雄

## 市表彰条例の一部を改正

功労者の死亡時に贈呈する祭料が、葬祭の儀式を執り行う神社や神官に対する謝礼を指すため、宗教色を帯びた性格を有することから、現行の「祭料、弔詞及び花輪を贈呈する。」を「相当の礼をもって弔慰する。」に改正するものであり、原案のとおり可決しました。

## 市農村集会施設条例の一部を改正

滝根町広瀬に設置している「田村市広瀬下郷生活改善センター」について、建築から36年経過し老朽化が著しいことなどから、本施設を廃止するものがあり、原案のとおり可決しました。

## 市過疎地域自立促進計画の策定

過疎地域自立促進特別措置法が改正され平成28年3月31日まで延長されたことに伴い、規定に基づき、大越および都路地域における平成22年度から6年間の計画を新たに策定するものがあり、原案のとおり可決しました。

## 工事契約を議決

8月19日に入札を行った工事請負について、議会の議決に付すべき契約（予定価格1億5千万円以上）の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

▼田村市学校給食センター建築  
主体工事

### 契約方法

条件付き一般競争入札

### 契約金額

3億5,091万円

### 契約業者

富士工業 株式会社

▼田村市学校給食センター電気設備工事

### 契約方法

条件付き一般競争入札

### 契約金額

2億1,609万円

### 契約業者

東新電気工業 株式会社

▼田村市学校給食センター機械設備工事

### 契約方法

条件付き一般競争入札

### 契約金額

2億6,670万円

### 契約業者

株式会社 大和田設備工業

※条件付き一般競争入札とは：  
ある一定の条件を付けた入札情報をご告知して参加申込を募り希望者同士で競争に付して契約者を決める方式です。

## 財産の取得を議決

随意契約を行った備品購入について、議会の議決に付すべき財産の取得（予定価格2千万円以上）の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

▼田村市学校給食センター厨房機器設備の取得

### 取得動産

自動食器トレイ洗浄機

ほか130品

### 契約方法

随意契約

### 契約金額

2億8,770万円

### 契約業者

福島アイホー調理機 株式会社 田村営業所

# お知らせ

## 12月定例会が開催されます

12月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。なお、正式には定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



9月定例会の会期中、延べ72人のかたが傍聴しました。

田村市議会事務局  
TEL 77-2261  
FAX 77-2393

### 12月定例会の開催日程（予定）

11月30日（火）	本会議	初日（招集日） ・会期の決定 ・提案理由の説明 等	議場
12月1日（水）	休会	（議案調査）	
12月2日（木）	休会	（議案調査）	
12月3日（金）	本会議	代表質問	議場
12月4日（土）	休会		
12月5日（日）	休会		
12月6日（月）	本会議	一般質問	議場
12月7日（火）	本会議	一般質問	議場
12月8日（水）	本会議	総括質疑 議案の常任委員会付託	議場
	委員会	各常任委員会審査	各委員会室
12月9日（木）	委員会	予算常任委員会審査	各委員会室
12月10日（金）	休会	事務整理	
12月11日（土）	休会		
12月12日（日）	休会		
12月13日（月）	本会議	最終日 ・各常任委員会審査結果報告 ・議案等の質疑、討論、採決	議場

# 代表質問

次ページからは、9月定例会において行われた代表質問を掲載します。2会派2人の議員より、市政に対する質問が行われました。

## 請願・陳情について

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。

陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

### ○請願（陳情）書の書き方と提出方法

定例会前の議会運営委員会開催日（概ね開会日の3日前）の前日午後5時までに議会事務局へ直接提出してください。

※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

### 請願（陳情）書

年月日

田村市議会議長

〇〇〇〇様

請願者 住所 〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 〇〇〇〇〇印

紹介議員 〇〇〇〇〇（署名又は押印）

※陳情の場合は不要

（件名） 〇〇〇〇について

請願要旨 〇〇〇・・・・

請願事項 〇〇〇・・・・

市民netたむら 本田 仁一 議員

## 市内公共交通は

質問

田村市公共交通活性化協議会における協議状況と現時点での方向性は。

回答

現在、国の補助事業等を活用し、市民の利便性を高めるため、効率的で持続可能な公共交通システムのあり方について検討しています。

## 在宅介護支援策は

質問

在宅介護者への支援策が拡充されたが、より一層の実態の把握と支援策は。

回答

現在の在宅介護者への支援策を広く周知しながら、個々のサービスを効果的に利用促進できるように働きかけています。

## 市内JR各駅の付随施設と踏切の改修は

質問

①要田・磐城常葉駅トイレ水洗化、磐城常葉駅上り線ホームの雨よけ設置は。  
②船引駅駐車場の有料化の検討経緯と内容、また利用の際の軽減策は。  
③要田小学校北側踏切、磐城常

政友会 猪瀬 明 議員

## 政権交代による本市への影響について

質問

①国県の交付金および補助金等に係る政権交代前との比較、効果と弊害は。  
②道路整備・農業政策への影響は。  
③地方分権による自治体への権限移譲の影響と効果は。

回答

①弊害と呼べるものは見当たらないと考えています。  
②今のところ影響はないものと考えています。  
③影響はありませんが、受け皿整備に取り組みます。

## 医療体制の充実

質問

①医療に関する検討委員会等の活動状況は。  
②夜間医療体制の充実、公営救急医療施設等の設置は。  
③ショートステイと療養型施設の充実は。  
④後期高齢者の掛かりつけ医療制度は。

回答

①現在取りまとめ作業を進めています。

②夜間救急医療体制の早期実現に努めます。

③在宅サービスの充実と、介護老人福祉施設におけるサービス基盤整備の支援に努めます。

④平成21年度で廃止されました。

## 地域別将来像は

質問

①クラスター方式は。  
②地域審議会は。  
③移動市長室の内容は。

回答

①スケールメリットを考慮した組織のあり方と位置づけ、担当事務を検討します。

②市民の意見を広く聞くことのできる地域審議会を引き続き活用します。

③生活環境の整備に関するものが最も多く、次いで市民参加のまちづくりに関すること、健康づくりと福祉の充実に関することです。

## 光ファイバー整備見通し

質問

光ファイバー整備の進捗状況と完成時期は。

回答

船引町七郷局・瀬川局・移局、都路局管内の工事を6月24日に着手し、NTTとして滝根町が11月1日よりサービス開始、また常葉町も本年度中にサービス開始予定です。

その他に

・ネットによる行政サービスの拡充について質問しました。

# 一般質問

次ページからは、9月定例会において行われた一般質問を掲載します。  
7人の議員より市政に対する質問が行われました。

## 平成21年度 田村市議会政務調査費収支報告

平成21年度における政務調査費収支については下記のとおりです。

※収支残額については、それぞれ返還されております。

(報告書、領収書等は、田村市情報公開条例に基づき開示請求を行えば閲覧できます。)

項目・会派名	政友会	五月会	真政会	計
○収入				
会派所属議員数	10名	2名	14名	26名
政務調査費交付額	2,400,000円	480,000円	3,360,000円	6,240,000円
○支出				
研究研修費	－	－	36,000円	36,000円
調査旅費	1,430,490円	173,400円	2,055,470円	3,659,360円
資料作成費	54,050円	8,550円	62,704円	125,304円
資料購入費	41,520円	－	81,200円	122,720円
広報費	814,212円	－	1,135,875円	1,950,087円
広聴費	－	－	－	0円
人件費	－	－	－	0円
事務所費	－	－	－	0円
その他の経費	－	－	－	0円
合計	2,340,272円	181,950円	3,371,249円	5,893,471円
収支残額(返還額)	59,728円	298,050円	0円	357,778円

項目	内容
研究研修費	会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費または会派に所属する議員が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費(会場費、講師謝金出席負担金、交通費等)
調査旅費	調査研究を行うために必要な先進地調査または現地調査に要する経費(交通費、宿泊費等)
資料作成費	調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費(印刷製本費、翻訳料、事務機器使用料等)
資料購入費	調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	調査研究活動について市民に広報等をするために要する経費(広報紙、報告書印刷費、送料等)
広聴費	市民から市政および会派の政策等に対する要望や意見を聴取するための会議等に要する経費
人件費	調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	調査研究活動のために必要な事務所の設置、管理に要する経費(備品・事務機器購入、リース代等)
その他の経費	上記以外で、会派の行う調査研究活動に必要な経費

白石 治平 議員

## 高齢者の現状把握と対応について

質問

高齢者が増加するなか、本市として高齢者の現状把握とその対応は。

回答

100歳以上の方、18名には所在確認をしていますが、100歳未満の方については、1軒、1軒訪問をして確認ということは、個人情報保護条例もありますので、地域の区長、民生委員など、それぞれ地域の方のご協力を得ながら100歳未満の方についても確認していきたいと考えています。

## 市道（榎山・堀田線）の路面改修について

質問

当該路線の路面損傷が甚だしい状態であり、大変危険な状況であるが、早急な修復は。

回答

早急に対応したいと思えます。それが区間の一部ではなく、全線やるのか、2年、3年かけて全面舗装の改修するか、

それはお任せいただきたい。

## 殿上クロスカントリーコースの整備について

質問

常葉町殿上に整備されたクロスカントリーコースは、大変好評を得ております。

しかし、このコースの170mがコンクリート舗装であるため、ランニングを行う際、ひざに負担がかかるので、この部分にクッションマットを敷いては。

回答

施設管理用道路としての機能を維持しつつ、ひざへの負担を抑えることができる方法について、今後検討していきます。



殿上クロスカントリーコース

遠藤 正徳 議員

## 船引総合福祉センター等類似施設の今後と利用促進について

質問

①各施設の老朽化が進む中での施設運営をどのように考えているのか。

②船引福祉センターは階段が多く利用しづらいと思うが、改善の考えは。

③各施設の衛生面や運営面での統一した管理体制の考えは。

回答

①利用しやすい施設の計画的な整備に努め、市民福祉の増進を図っていきます。

②エレベーターやスロープは、建物の構造上の問題もあり設置は困難です。車椅子利用者や高齢者へは職員が速やかに対応しています。

③今後、それぞれの管理運営マニュアルを相互に比較し、より快適な環境づくりに努めます。

## 子育て支援について

質問

①子育て支援計画などの重点部分をより分かりやすく公表すべきでは。

②育児休業中退所児の再入所や保護者の呼び出しは。

回答

①内容をより分かりやすくまとめた概要版等を掲載するなど方法を検討します。

②待機がある場合の優先順位は市保育所保育実施基準の運用要綱で決められております。勤務時間中の保護者の呼び出しは、子供のけがや病気の程度に応じて対応することになっております。子供の場合は、急変する場合がありますので、保護者の方のご理解も得ながら保育に従事していきます。

## 田村市総合体育館の運営について

質問

利用誘致を図るうえで、利用者の要望などへの対応と今後の利用促進に向けた対策は。

回答（教育長）

各利用者の要望を聞きながら関東方面の各大学などへ施設の案内と宿泊施設や観光施設を含めたPRと安心して利用できる管理運営、利用促進に努めていきます。



木村 高雄 議員

## らくらくタクシー事業の全市への普及は

質問

船引町内のらくらくタクシーの運行については、「市民の足となり大変にいい制度だ」と喜ばれています。しかし、現在の制度は、船引町以外では実施されていません。高齢者など市民の足を確保するため、全市に普及するべきではないか。

回答

らくらくタクシー事業の全市への普及については、本年3月に設立した田村市公共交通活性化協議会において、船引地域で運行されているデマンドタクシー運行エリアの拡大、JR磐城東線の利用促進および路線バスの再編やスクールバスの活用によるコミュニティバスの運行など、市民の利便性を確保するとともに、効率的で持続可能な公共交通システムの構築を図る観点から、総合的に検討します。

大橋 幹一 議員

## 就学援助制度について

質問

今年4月から文部科学省は新たに、就学援助費の項目を拡大しました。拡大した項目は、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の3つを国庫補助の対象としました。田村市でも、これらについて就学援助の対象とすべきではないか。

回答（教育長）

就学援助費の拡大については、要保護世帯は、平成22年4月1日付で文部科学省の要綱の一部が改正され、就学援助対象項目が新たにクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が加わりました。準要保護については、他市町の動向や財政的な措置の協議・検討を重ね、経済的な理由によって子どもたちの教育の機会が制限されないように努めていきます。



放課後子ども教室

## 企業誘致は

質問

企業誘致の現状は。

回答

市内立地企業の増設は、平成17年度1件、18年度3件、19年度2件、20年度1件、21年度4件であり、今後はデンソー関連や自動車メーカーのグループ企業等の情報収集に努めながら、福島県と連携を図りながら、新たな誘致につなげていきます。

## 道路改良は

質問

市道入ノ作1号線の進捗状況は。

回答

平成21年度までの進捗状況は、用地買収で61%、改良工事は21%、事業費ベースで約30%が完了となっており、平成26年度完了に向けて進めていきます。

## 公用車の運行上の安全管理は

質問

①車両使用上の運行管理の実施状況は。

- ②安全管理教育（研修・適性検査等）の実施は。
- ③庁内に安全管理組織の設置、また行政局との連携は。
- ④軽微事故などの全職員に対するの事例研究は実施したか。

回答

- ①市には157台の公用車があり、運転する職員が車両管理者である所属長に決裁を受ける段階で点検などを実施しています。
- ②昨年はエコドライブ講習会、四輪車安全運転講習会および安全運転管理者等の講習などに積極的に参加し、運転者の安全管理に努めています。
- ③安全管理組織は設置していませんが、本庁と行政局で構成する課長等会において、事故や違反等の発生状況の報告と再発防止を呼びかけています。
- ④事故についての事例研究は改めて実施していませんが、今後事故や違反事例などを報告し、安全運転の再認識と意識の高揚を図ります。

## 中山間地域等直接支払事業は

質問

第三期の加入者が大幅に減った理由は。

回答

第三期協定は、72協定、1,186名です。交付要件の達成への負担、経理など不慣れな事務作業、役員のなり手がなくことや高齢化などが要因と考えられますが、たむら農協や普及所と協議しながら環境維持を対象農家へ働きかけます。

## 猪害対策について

質問

駆除隊の実情と具体的対策の実施状況は。

回答

駆除隊員数は、滝根6人、大越12人、都路23人、常葉15人、船引22人です。本年の出勤は延べ896日です。本年度くくりワナを37台購入し、駆除隊に設置を依頼しました。また、中山間の交付金を利用し集落単位で電牧を設置、被害防止効果が大きいと伺っています。

## 廃校舎の取り壊しについて

質問

取り壊すべき廃校舎は。

回答

統廃合により8校が空き校舎になっています。利活用が期待薄の校舎の取り壊しを検討中で、今泉小、瀬川中を優先度が高いものと考えています。

## 集落間連絡道の整備は

質問

集落をつなぐ道路の整備を進めるべきと願う。

回答

市道追分文珠上線は、延長672m、幅員5mで平成20年度から、市道遠下線は、県道常葉野川線に接続する900m、幅員7mで平成18年度から着手しています。遠下線の残り2,490mは山間部の一部に保安林の指定があり、また地形的に高低差も大きいため、利用状況や交通量など長期的な視点から検討します。その他は財政状況や道路整備計画との整合性を図りながら検討します。

その他に

・総合福祉センターの在り方について  
質問しました。

## 行財政改革の進捗およびその効果は

質問

①行財政改革大綱の実施状況は。  
②今後、行財政改革大綱の見直しの必要性和計画は。

回答

①平成18年度から平成22年度の5年間を計画期間とし、職員の削減、簡易水道と上水道の統合、指定管理者制度の導入、徴収嘱託員による税収の確保など積極的に取り組んでいます。  
②平成23年から平成27年度の第二次行財政改革大綱の策定を進めています。

## 安心・安全なまちづくりの推進と課題は

質問

①緊急医療機関の早期整備は。  
②防犯・消防などの施設整備計画の早期具現化は。  
③市の水防計画の見直しと市民への周知は。

回答

①重要な課題であり、市保健医療検討委員会や地域・緊急医療体制庁内検討委員会で検討しており、夜間緊急医療体制の実現に向け田村医師会と協議を重ねます。  
②防犯灯の増設を行い夜間の安全確保を図っています。また、消防施設は、屯所の改築、防火

水槽と消火栓の増設、ポンプ車の更新などを計画的に行います。  
③市民ニーズや社会情勢の変化に対応するため毎年見直ししています。広報紙やホームページに掲載するなど広く周知します。

## 行政窓口サービスの充実強化は

質問

①休日および時間外窓口業務の体制と利用実績は。  
②更なる窓口サービスの充実強化は。

回答

①毎週日曜日に本庁市民課と税務課で行っており、平成21年度実績で市民課が証明書等交付、延べ件数1,390件、税務課が税金の自主納付等、延べ422件、毎週木曜日、本庁と各行政局の市民課で時間外窓口業務は、延べ772件、休日出勤者は月曜日に振替休とし、窓口延長勤務者はフレックスタイムを実施しています。  
②庁内の事務処理改善委員会で検討を重ね、市民ニーズに即した行政サービスの充実に努めます。

その他に

・田村市まちづくり支援をはじめとする各行政局における中心市街地の活性化推進について質問しました。

# 一般質問

半谷 理孝 議員

## デマンドタクシーの運用拡大について

質問

① 公的交通機関およびらくらくタクシーの財政負担は。  
② 大越町は定期バスが利用できないが、早い対応は。  
③ 導入を可能にするための条件は。

回答

① 福島交通等15路線に約6,098万円、らくらくタクシーに1,750万円交付しています。  
② 利便性の高い交通システムの構築を図る必要があると考えています。  
③ 新たな公共交通システムの構築に向け、田村市地域公共交通総合連携計画を策定することとしています。現時点では具体的な数字等の条件をお示しすることは困難です。

## 敬老祝と金婚祝について

質問

日程等を別にできないのか。

回答

船引町は金婚祝を敬老会とは別に、船引町以外は敬老会と併せて開催しています。地域ごとに協議のうえ行っています。



都路地区 敬老会

## 市税の徴収ミスについて

質問

常葉町における徴収ミスについて、内容の説明と改善策を問う。

回答

固定資産税の課税に一部誤りがあり、税額の更正と課税標準額の訂正を行いました。今後はその都度、別の職員が確認作業を行うなど課税誤りの防止に努めていきます。

# 総括質疑

半谷 理孝 議員

## 議案第59号 表彰条例の一部を改正する条例

質問

予算の使途は従来通りか。

回答

今後、祭し料に替えて香典を贈呈することになります。なお、弔詞および花輪は従来どおりです。また、予算の使途が変わることはありません。

## 議案第70号から72号について

質問

① 議案第70号 給食センター建築主体工事請負契約の入札参加業者および落札率は。  
② 議案第71号 給食センター電気設備工事請負契約の入札参加業者および落札率は。  
③ 議案第72号 給食センター機械設備工事請負契約の入札参加業者および落札率は。

回答（教育部長）

① 富士工業(株)、(株)トリアス、三和工業(株)、桜田工業(株)、陰山建設(株)田村営業所、石橋建設工業

## 議案73号 財産の取得について

質問

① 設計業者からのすすめは。  
② 他社との比較とその内容は。

回答（教育部長）

① 設計業者からのすすめなどは一切ありません。  
② 指名型プロポーザル方式による5業者の提案書等に基づき4つの審査項目と14の評価項目から比較検討を行い決定しました。

プロポーザル方式は、業務の内容が技術的に高度なもの又は専門的な技術が要求されるものについて、能力、実績及び技術提案書を評価し、最も優れた者を選定する方式です。

# 議会の動き

## 各委員会

## 活動

## 報告

10月4日（月）、田村市議会議員が福島県庁において、市町村合併に伴う流域下水道移管に関する制度改正等についての要望活動を行いました。



県知事への要望活動

### 要望の要旨全文

流域下水道は、2以上の市町村から下水を排除する幹線管渠や終末処理場等を都道府県が設置し、維持管理するものであり、流域下水道の事業計画や事業の認可も都道府県を前提としており、1市町村が経営できる規模、規格にはありません。

しかし、現在の制度においては、流域下水道区域の市町村が合併で1つの市となった場合、流域下水道は、合併特例期間である10年が経過することにより都道府県から市に移管され、市が直接維持管理等を行う公共下水道に移行されます。

その場合、市においては、過大な規模、規格の下水道施設の運営と維持管理を行わなければならない、さらに都道府県が起債した企業債の償還をも引き受けることとなり、財政が逼迫している中で、大きな負担を強いられることとなります。

この1市1流域の問題は、合併政策の重大な積み残しであるとともに、今後、将来の合併推進に向けても大きな課題となることが明白であります。

県におかれましても、この現状を十分認識され、流域下水道のために合併の効果が無に帰すことのないよう、10年を経過した後も引き続き都道府県が流域下水道として設置・管理できるよう制度の改正を国の関係機関に働きかけるとともに、設置者として引き続き施設の運営と維持管理が行われますよう要望いたします。

7月20日（火）、田村地方市町議会議長会主催による議会議員研修会が「穴戸会館」（小野町）を会場に開催され、田村市・三春町・小野町議会議員が一堂に会し、講演を傾聴しました。



- ◆講師 母畑温泉  
八幡屋 代表取締役社長 渡邊忠栄氏  
演題「八幡屋のある母畑温泉の石川町」  
～甲子園出場校、学法石川高校のある  
石川町の母畑温泉から～

### 田村地方市町議会議長会とは…

地方自治の振興発展を図ることを目的とし、田村市、三春町および小野町の議会議長をもって組織しています。



8月25日（水）、福島県市議会議員研修会が飯坂穴原温泉「吉川屋」（福島市）を会場に開催されました。

この研修会は、東北市議会議長会および福島県市議会議長会共催によるもので、福島県内市議会議員が一堂に会し、講演を傾聴しました。

- ◆講師 市町村アカデミー客員教授 大塚康男氏  
演題「議会人が知っておきたい危機管理」  
～地域主権の可能性と政務調査費～

# 総務文教常任委員会

委員長 猪瀬 明

## 9月定例会委員会審査

総務文教常任委員会には、条例改正案1件、過疎地域自立促進計画の策定について1件、工事請負契約3件、財産の取得について1件が付託され、継続となっていた請願1件について審査しました。  
主な審査内容については次のとおりです。

### 財産の取得

質疑

購入される131品のなかで、購入金額の上位については。

回答（教育総務課）

上位5品目は、自動食器トレー洗浄機、連続フライヤーシステム、連続式コンテナ洗浄機、真空冷却機、システム食缶洗浄機です。

### 所管事務調査

9月15日、入札制度の現況調査を行いました。

## 請願の審査結果

6月定例会から継続審査中の「山根小学校の常葉小学校への統合にかかわる、児童送迎バスに、山根方部の中学生の同乗を求める請願」は、地区の方々の切なる思いも十分わかるが、山根以外の地区からの要望があったときの影響や、公共交通活性化協議会で、スクールバスなども含めた検討がなされていることなどから、今後更なる調査が必要のため、継続して審査することになりました。



所管事務調査

# 市民福祉常任委員会

委員長 石井 忠 治

## 9月定例会委員会審査

市民福祉常任委員会には、条例の一部改正案1件が付託され、原案のとおり可決しました。  
主な審査内容については次のとおりです。

### 税条例の一部改正

質疑

現在、固定資産税と個人の市民税に適用している前納報奨金の廃止に伴い、徴収率の低下が懸念される。また、今後の徴収率向上対策は。

回答（税務課）

すでに制度を廃止した、他市の状況について調査したところ、分納に移行する者はあるものの徴収率には特に影響はなく、本市としても影響がないものと考えられます。また徴収率の向上のため未納対策本部における関係課職員による滞納整理の実施のほか、滞納整理に係る職員研修の実施、差押や公売に係る実務研修のため県への職員派遣等を実施するなど、収納対策の強化に努めます。

## 所管事務調査

9月16日、市民福祉常任委員会を開催し、JAたむら「ふれあいセンター」、市斎場、都路診療所、田村広域一般廃棄物最終処分場の現地調査を行いました。



都路診療所にて



田村広域一般廃棄物最終処分場にて

### 9月定例会委員会審査

産業建設常任委員会には、条例改正案1件、請願3件が付託され、原案のとおり可決しました。主な審査内容については次のとおりです。

#### 請願の審査結果

「米価の大暴落に歯止めをかけるための請願」については、「備蓄も限界で状況をみてはどうか。」や「買い入れすれば国民の負担になる。」などの意見があり、「地元の農家の実情を考えると必要。」との結論に達し、採択すべきものと決しました。「免税軽油制度の継続を求める請願」については、「本市は一次産業、農業が主要産業であるため必要。」との意見が出され、採択すべきものと決しました。

「EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願」については、「本市の農家の実情を考えると必要。」との意見が出され、採択すべきものと決しました。

### 本市への流域下水道移管について

現在の制度においては、流域下水道区域の市町村が合併で一つの市となった場合、流域下水道は、合併特例期間である10年を経過することにより都道府県から市に移管され、市が直接維持管理等を行う公共下水道に移行されます。

その場合、本市においては、過大な規模、規格の下水道施設の運営と維持管理を行わなければならない、さらに都道府県が起債した企業債の償還をも引き受けることとなり、財政が逼迫している中で、大きな負担を強いられることから、議員発議により、国、県へ制度改正を求める意見書の提出をするために提案しました。



大滝根水環境センター

## 予算常任委員会

### 委員長 大和田 博

### 9月定例会委員会審査

予算常任委員会には、平成22年度各会計補正予算案7件が付託され、原案のとおり可決しました。主な審査内容については次のとおりです。

#### 平成22年度 一般会計補正予算

#### 質疑

歳入補正の固定資産税で、新築住宅の課税分で見込んだ額との差額と、地価下落の影響は。

#### 回答（税務課）

新築住宅による減免差額は、当初課税標準額で368万9千円程度を見込んでいましたが、現実には366万7千円程度となり、その分が減少しています。評価見込みによる変動ということですが、地価下落による評価額の減が2億1千825万4千円です。

#### 質疑

歳入補正で、地方交付税4億102万9千円の中で子ども手当創設の説明がありました。その補正額は。

#### 回答（財政課）

基準財政需要額の中に、約180万円ほど、対費用として含まれています。

#### 質疑

生活保護システムを改修することは、本市にとってどれくらい便利になるのか。

#### 回答（社会福祉課）

これは国の施策で実施するものです。

国がデータ分析、データ収集をする際には、今までは紙で送り、その後データをまとめるという作業をしていましたが、厚生労働省の同じ統一したシステムを利用するというので、それが速やかに対応できるというシステムです。全国の福祉事務所でのシステムの改修を行うことになりましたので、国の方のデータ分析が早くなるのではないかと思われれます。

# 決算特別委員会

委員長 佐藤 忠

## 9月定例会委員会審査

決算特別委員会には、平成21年度各会計歳入歳出決算認定13件の議案が付託され原案どおり認定しました。

主な審議内容は、次のとおりです。

### 平成21年度 一般会計歳入歳出決算認定

質疑

交際費は、県内13市と比較してどの位置にあるか。

回答（市長公室）

市の規模、合併した町村数、慣習等の違いにより一概に言えませんが、同じ人口規模の市と比べると高い状況です。現在、交際費の見直しを進めています。

質疑

不要財産の処分は。

回答（財政課）

出来るだけ早い機会に、公募で処分するようにしたいと考えております。

質疑

中学生海外派遣研修事業の定員と競争率は。

回答（学校教育課）

21年度は中止しましたので、今年度の状況は、定員26名に対し、36名の募集があり、約1.4倍の競争率でした。  
また、抽選の仕方は、オープンで実施しています。

質疑

学校の元気を支援する事業の補助金は。

回答（学校教育課）

平成21年度は、滝根地区、大越地区、船引南中学校区の小中連携推進事業などについて補助金を支出しています。

質疑

スクールバスの更新基準は。

回答（教育総務課）

概ね15年または20万キロ以上です。

質疑

在宅番医制委託事業を田村医師会へ委託していますが、1年間の医療機関数と日数また、利用者数は。

回答（保健課）

34の医療機関で年間72日間の在宅番として休日診療を協力していただいています。また、診療実績は2,190人となっています。

質疑

### 平成21年度 介護保険特別会計歳入歳出決算認定

いきいきデイサービス事業が廃止になった理由は。

回答（介護福祉課）

利用者が介護保険の要支援・要介護の認定を受け、対象者が少なくなったため廃止したものです。

### 平成21年度 授産場事業特別会計歳入歳出決算認定

質疑

作業員の状況は、また、船引以

外からも利用はあるか。

回答（社会福祉課）

生活保護世帯6名、心身障害者12名、一般の方13名、計31名で、大越、滝根からも利用しています。

### 平成21年度 公共下水道事業特別会計 歳入歳出決算認定

質疑

滞納の実態とその対応は。

回答（下水道課）

受益者負担金は、現年度分57名、過年度分67名、実人数94名です。また、使用料は現年度分97名、過年度分67名、実人数123名で、訪問による督促を行っています。



審査の様子

負けないで、  
がんばりたい



田村市大越町  
吉田澄江さん

経済不況に悩む、日本のことが新聞やテレビ等で問題になっている毎日です。そうした中、若者の就職先不安、子どもへの虐待、覚せい剤等薬物の乱用などいろいろな事件が起きていることに心が病む毎日でもあります。

私たち一人ひとりの生活には、思うようにいかないことは誰にもあることです。私も末っ子の娘が、今年就職をし、悩み事を聞くことが多いものです。そんな時、私も両親のことを思い出すのです。私がつらいことがあり弱音を言うと「やってみろ！人生のばねになるぞ。」と言ってくれた、父のことなどを、そして私も、娘を励まし、娘も負けないことを願うのです。

政治経済も、家庭も同じこと、今、負けずにみんなががんばらなければと思うのです。市政にたずさわる方にも、心から、がんばってもらいたいと願うのは、私一人ではないと思っております。

シリーズ

# 市民の声

9月で思いきり9月

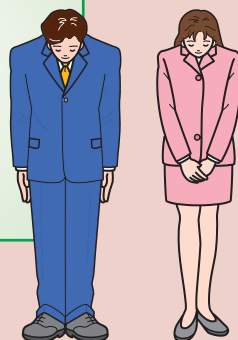


田村市都路町  
中田静夫さん

この欄への投稿依頼を9月に受け、田村市との関わりを振り返ってみました。不思議なことに都路の地に来ての土地購入が、昭和天皇崩御の年の9月、その後、平成5年に建物着工、平成16年に移住、ともに9月でした。さらに、遡って他にも調べてみると、やはり節目の年の行動は9月だったのです。自分では無意識に行動し難なく過ぎたのは偶然と思えない巡り合わせを感じている次第です。

昨年の9月28日に障がい者支援活動を主旨とする会（地区連協）の発足に参画し、市民会の皆様に施設見学を企画し、多数参加頂きました。その後、我々も勉強をしなければと、障がい者福祉の法律と現状について勉強会を開催し、多数の関係者の参加を頂き、この1年、一定の成果は上がったと思っております。地方議会も従前の通りにはいかず、変革の時代に入り、議会・行政・市民が一緒になり、提案と自助努力をしていくことが、混迷の時代を生き抜くことでは……と考えます。

田村市民の皆さんが普段思っていることや要望などをシリーズとして掲載します。担当者がお伺いした際にはご協力くださるようお願いいたします。



編集後記

議会と市民の皆様をつなぐ情報源としての役割を担い、親しまれる紙面づくりを目指します。今後とも議会に対する積極的なご意見をお寄せください。

委員長  
副委員長  
委員

樽井 義忠  
菊地 武司  
大橋 幹一  
白石 恒次  
木村 高雄  
橋本 紀一